



第12回道路連絡会が2月4日(火)江東区森下文化センターで行われました。東京大気汚染公害裁判の和解で約束した国・東京都の東京全域の大気汚染を削減させるための公害対策を誠意をもって実行するように11年余の協議をかさねています。区鼓動・都道などの幹線道路沿道に街路樹を多数植栽し、自動車排ガス



を浄化する課題については、東京都は既に達成したと言っていますが、常緑樹や高木が少なく、各地で増殖を要求しましたが、道路拡幅・整備の時に自転車道と併せて植栽するとの消極策に止まりました。「自動車から自転車への転換」の要となる東京全域に自転車ネッ



トワークをつくることについて、私たちの各区や市の直接要請を重ねた結果18区市が自転車ネットワーク計画を作成し、自転車の走るまちへスタートしました。周辺住民のぜん息患者が多い9激甚交差点の公害対策は、今回も具体策が提案されず「何時まで待たせるのか!」と怒りの声もあがりました。

# 道路連絡会



1月30日(木)はトヨタ東京本社前に140名の参加で集会を行いました。『冷たい風を吹き飛ばす』のローガンでしたが、当日は風も無くポカポカと暖かく、コートも脱ぎたくなるほどの陽気でした。太鼓のリズムで開始された集会は、多くの支援のみなさんが参加され、激励していただきました。



13年前に『東京大気汚染公害訴訟の原告』として、初めてトヨタ東京本社の前に座り込んだ時は「何と大きな敵と闘っているのだろう」と膝が震

# トヨタ東京本社前で集会

経験とは思えない! 13年前に『東京大気汚染公害訴訟の原告』として、初めてトヨタ東京本社の前に座り込んだ時は「何と大きな敵と闘っているのだろう」と膝が震

えたものです。当時に比べてトヨタ自動車は更に営業成績を伸ばし、売上高も約30兆円に届く会社です。しかし、売上を伸ばしても社会的にはどうでしょう? 環境に影響を与える製品を製造する自負はあるのでしょうか? **今こそ力を合わせて** たとえ大企業であつても、間違いは正すべきと当時も訴えたが、今公害調停に臨むトヨタは自動車メーカー7社の態度は、ディーゼル排ガス公害の責任を何より恐れているのは彼らのような気がします。時が流れ少しずつ世の中が変わっても、人の命と健康ほど尊いものはない!



2月6日(木)埼玉労働会議室をお借りして、埼玉交流会がひらかれました。建設アスベスト・福島原発避難者・ノーマアミナマタとそれぞれが公害訴訟を提訴している団体と私たち大気汚染公害被害者の4つの団体が一緒に交流を重ねています。それぞれの訴訟の応援をしたり、埼玉県に合同の申し入れをしたりと交流を続けています。



「公害総行動埼玉県連絡会」の要請をしました。更にその日に次の行動が決まりました。4つの公害団体が一緒に集会を開き、その場で私たちのDVDの上映会も開催していただけることになりました。

# 建設アスベスト結審

1月30日(木)トヨタ前での集会の後、横浜開港記念館において『神奈川県建設アスベスト訴訟2陣の東京高裁結審大集会』が行われ、東京患者会からも12名が参加しました。



1月30日、東京高裁で審理が進められてきた建設アスベスト訴訟「神奈川2陣訴訟」が結審した。アスベストは発症すると短期間で亡くなる方が多く、原告団は遺族の方も多く見受けられる。これから提訴予定の第3陣の原告の方も訴えるDVDを観て、早期に被害が認められ、救済の途が開けることを願う気持ち、私たちと全く同じです。

「何時まで待たせるのか!」と怒りの声もあがりました。夫や息子を失い、自ら

家族を失う悲しみを切々と